

TOPICS

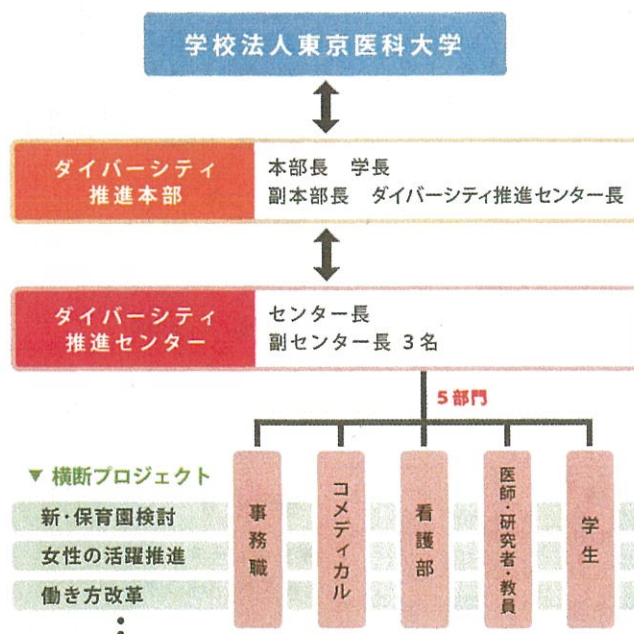
ダイバーシティ推進センター令和2年度活動報告

ダイバーシティ推進センターは、平成31年4月1日より活動を開始しました。これまで、本学のダイバーシティに関する活動は、「医師・医学生支援センター」（平成22年4月発足）や「医師・学生・研究者支援センター」（平成25年11月改組）で行われてきましたが、ダイバーシティ推進センターは、これらの活動を継承しつつ、全教職員を対象として、ダイバーシティ推進に努めております。

組織としては、法人のダイバーシティ推進本部直下に位置付けられ、ダイバーシティ推進の実行部隊として活動しております。ダイバーシティ推進センターは、5部門（学生部門、医師・研究者・教員部門、看護部門、コメディカル部門、事務部門）に分かれてダイバーシティの推進活動を行うとともに、横断プロジェクトとして育児支援などを行っております。

活動報告としましては、従来の就業継続や復職支援に関する相談対応（45件）、研究者支援としてライブイベント中の補助者配置（9件）と科研費申請支援（5件）、育児支援としてファミリーサポート（507件）や学生支援としてキャリアガイダンスと医療プロフェッショナルリズム講義を継続して実施しております。

加えて、令和2年度の大きな活動報告としましては、まず、例年開催している「医師を目指す中高生と保護者のための講演会」を令和2年7月29日に新型コロナウイルス感染症拡大の影響もあり初めてオンラインにて開催いたしました。学内と学外の医師各1名にご登壇いただき、自身のキャリア形成や実際の授業の紹介など医学部受験者に大変参考になる講演となりました。



ダイバーシティ推進本部体制

次に、令和3年2月20日に全国ダイバーシティネットワーク特別企画セミナー「誰もが活躍できる医師の働き方改革を目指して」をオンライン開催いたしました。本学は令和元年度から全国の大学、研究機関や企業等を含めた179機関からなる全国ダイバーシティネットワークに参画しており、令和2年12月14日に全国ダイバーシティネットワークから本学が女性研究者を取り巻く研究環境整備や研究力向上に取り組んでいる機関として評価され認定証を授与されました。特別企画セミナーはOECD（経済協力開発機構）東京センターの村上由美子所長をはじめダイバーシティ推進に積極的に取り組んでいる4名の方にご登壇いただき、幅広い視点から医師の働き方の問題点と改革へ向けた取り組みについてご講演いただき、多くの貴重なヒントを得ることができました。

最後に、大学病院立体駐車場棟に新保育園が令和3年度の6月に開設されました。大学病院人事課を中心に当センターの久保ゆかりセンター長（学長特別補佐・皮膚科学分野教授）や古屋奈穂子リーダー（血液内科学分野講師）を中心とした当センターの育児支援WGも協力し、就業継続と復職支援として教職員が安心して仕事に専念できることを目的としています。



医師を目指す中高生と保護者のための講演会

令和2年度はダイバーシティ推進センターの活動2年目として色々な取り組みを検討していましたが、新型コロナウイルス感染症拡大の影響で少なからず縮小を余儀なくされたものの、セミナーをオンライン開催したことにより、遠方の方も視聴可能になり、積極的な質問も可能になるなどのメリットも発見できました。次年度のさらなるダイバーシティ推進に向けて、引き続き皆様のご協力をお願い申し上げます。

(ダイバーシティ推進センター 係長 鈴木進哉)



全国ダイバーシティネットワーク特別企画セミナー